

1) 会員管理

R2年度会員数(2021年3月31日現在)

会員種別	H29年度末会員数 (H30.3.31)	H30年度末会員数 (H31.3.31)	R1年度末会員数 (R2.3.31)	R2年度末会員数 (R3.3.31)
個人会員	606	634	620	587
学生会員	216	247	195	130
海外会員*OECD	3	3	3	2
海外会員*OECD以外	1	1	1	1
法人会員	6	6	5	5
名誉会員	13	12	12	11
計	845	903	836	736

* 上記集計はメール・郵便物不達者を除いた数。個人会員資格喪失者(過年度未納2年)を除いた数。

* R2年度末の個人会員には、非会員6名(会費請求しない)を除外。

* 学生会員は、資格継続確認に未回答数を含む。

* R3年度の会費請求は送付済で、会員証の発送はしない。

法人会員

日本製鉄株式会社／日本ガイシ株式会社／東レ株式会社

本田技研工業株式会社　／ JFEテクノロジー(株)

2) 総会・定例理事会・臨時理事会・書面審議

1. 総会

2020年 6月 27日(土) 15:30-16:30 Zoomオンライン

2. 定例理事会

2020年 6月 27日(土) 13:00-14:30 Zoomオンライン (第1回)

2020年12月12日(土) 13:00-17:00 Zoomオンライン(第2回)

3. 臨時理事会

2021年 5月 21日(金) 17:00-19:00 Zoomオンライン

4. 書面審議

なし

0) 前回議事録確認

別紙

3) 日本MRS講演会

2020年度実施せず

ニュース編集委員会

ニュース編集委員長 岩田展幸

32-2号目次

- やあ こんにちは「徒然にポストコロナを思う」
日本大学名誉教授・日本MRS監事 山本 寛
- 研究所紹介「高知工科大学総合研究所ナノテクノロジー研究センター」
高知工科大学環境理工学群教授 古田 守
- 研究トピックス「単分子誘電体の開発」
広島大学大学院先進理工系科学研究科 藤林 将・西原 禎文
- ご案内
 - ・日本MRS30周年貢献賞 ・第30回日本MRS年次大会
 - ・MRM Forum2020オンライン開催 ・MRM2021 ・新刊紹介
- To the Overseas Members of MRS-J

32-3号目次

- 第30回日本MRS年次大会
2020年12月9日(水)～11日(金)オンライン開催
- MRM Forum2020
2020年12月7日(月)～9日(水)オンライン開催
- ご案内
 - ・新刊紹介 ・協賛以外

32-4号目次

●やあ こんにちは

「コロナ禍とICT (Information and Communication Technology) 技術への取り組み」 東京都立産業技術研究センター理事・開発本部長 長谷川 裕夫

●研究所紹介 「東京都立産業技術研究センター IoT開発セクター」

●研究トピックス「大電力パルススパッタリングによる硬質薄膜形成とその適用」
東京都立大学システムデザイン学部機械システム工学科 清水 徹英

●ご案内

- ・第30回日本MRS年次大会
- ・MRM Forum2020
- ・IUMRS関連
- ・共催、協賛
- ・新刊紹介

●To the Overseas Members of MRS-J

33-1号目次

●やあ こんにちは

「新型コロナ禍のアウトブレイクから1年を経過し世の中が大きく変わった今、改めて想うこと」 産業技術総合研究所中部センター所長 淡野 正信

●第30回日本MRS年次大会開催報告

●MRM Forum2020開催報告

●ご案内

- ・IUMRS関連
- ・協賛、公募
- ・新刊紹介

●To the Overseas Members of MRS-J

編集委員会

編集委員長 渡邊友亮

日本MRSの英文原著論文誌TMRSJは当会の体力では維持が困難で、今年の総会で休刊と代替サービスを提案し、承認された。これに従い、2021年3月号の発行を以て休刊となった。令和3年度の発行状況は以下の通りである。

2020年4月号(45-2)8報 一般投稿5報 年次大会関連投稿3報

2020年6月号(45-3)5報 一般投稿1報 年次大会関連投稿4報

2020年8月号(45-4)13報 レビュー2報 一般投稿1報 年次大会関連投稿10報

2020年10月号(45-5)6報 一般投稿1報 年次大会関連投稿5報

2020年12月号(45-6)7報 一般投稿2報 年次大会関連投稿5報

2021年3月号(46-1)11報 一般投稿4報 年次大会関連投稿7報

計50報(2019年度 37報)

内訳 ・レビュー論文 2報(2019年度 2報) ・一般投稿論文 14報(2019年度 9報)

Vol.45-1～Vol.46-1の論文をまとめたVolume Archive CDを会員向けに発行し、2021年4月に送付完了した。

広報・情報委員会

広報・情報委員長 青木学聡

Webページにおけるイベントの告知

1	HP	初心者のための電気化学測定法-基礎編	公益社団法人電気化学会	R2年7月2日	オンラインセミナー(YouTube)
2	HP	初心者のための電気化学測定法-実習編	公益社団法人電気化学会	R2年10月12日	オンラインセミナー(YouTube)
3	HP	第48回先端科学セミナー 電気化学のための計算化学入門	公益社団法人電気化学会 関東支部	R2年11月10日	オンライン開催(Zoom)
4	HP	第19回ナノテクノロジー総合シンポジウム (JAPAN NANO 2021)	国立研究開発法人物質・ 材料研究機構	R2年12月11日	東京国際展示場(Webセミナー併用)
5	HP	電気化学セミナーC「電気化学による最近・ウイルス検出の最前線～新型コロナウイルス感染症の流行を経験して～」	公益社団法人電気化学会	R2年11月6日	オンラインセミナー(Zoom)
6	HP	第56回学際領域セミナー 一日でわかる全固体電池	公益社団法人電気化学会 関東支部	R2年12月11日～17日	オンライン開催(Vimeoによるオンデマンド配信)
10	HP	ナノ学会第19回大会会議	ナノ学会	R3年5月20日～22日	名古屋工業大学 御器所 キャンパス
11	HP	「山内物質空間テクニクス(JST-ERATO)の キックオフシンポジウム	NIMS 国際ナノアーキテクト ニクス研究拠点	R3年4月17日13:00～17: 00	早稲田大学新研究棟(121 号棟) University of Queensland

Webページにおける公募情報の告知

1	HP	2020年度「きぼう」利用テーマ募集	JAXA	募集締切R2年9月30日	募集説明会(セミナーライブ 配信))
2	HP	日本原子力研究開発機構J-PARCセンター長 候補者推薦依頼	日本原子力研究開発機構 J-PARCセンター	募集締切R2年12月7日	問い合わせ先:日本原子力 研究開発機構J-PARCセン ター長人事委員会
3	HP	国立研究開発法人物質・材料研究機構 ICYS 研究員(任期制)の公募について	国立研究開発法人物質・ 材料研究機構	応募締切R2年3月31日	問い合わせ先:若手国際研 究センター採用担当

令和2年度活動報告

MLおよびWebページによる事務局からの案内(主に会員向け)

1	4月1日	「日本MRSニュース2020年1号を掲載いたしました」
2	6月15日	「第30回日本MRS年次大会講演申し込み受付を開始しました」
3	6月27日	「第30回日本MRS年次大会はオンライン開催となりました」
4	6月29日	「MRM2020は1年延期してMRM2021として開催することが決定されました」
5	7月1日	「Transactions of the Materials Research Society of Japan休刊のご案内」
6	7月1日	「MRM Forum 2020が本年12月にオンライン開催することが決まり準備が始まりました」
7	7月20日	「日本MRSニュース2020年2号を掲載いたしました」
8	8月25日	「MRM Forum 2020のホームページが公開され、シンポジウムへの講演募集が始まりました」
9	9月2日	「TMRS-J一般論文投稿についてのご案内」
10	9月4日	「第30回日本MRS年次大会講演申し込み受付を終了しました」
11	9月25日	「日本MRSニュースを掲載しました(第30回日本MRS年次大会、MRM Forum 2020)」
12	10月16日	「第30回日本MRS年次大会 早期参加登録受付を終了しました」
13	11月16日	「長倉三郎名誉顧問が令和2年4月16日にご逝去されましたことを謹んでお知らせいたします」
14	12月2日	「第30回日本MRS年次大会Abstractを公開しました」
15	12月18日	「日本MRSニュース2020年4号を掲載いたしました」
16	1月8日	「MRM Forum 2020の優秀若手発表賞が決定いたしました」
17	1月18日	「第30回日本MRS年次大会奨励賞受賞者が決定いたしました」
18	1月28日	「今年の年次大会はMRM国際会議と同時開催になります」
19	2月1日	「TMRS-Jへの投稿受付は、第29回年次大会関連論文・一般論文共に全て終了いたしました」
20	3月1日	「第31回日本MRS年次大会ホームページを公開いたしました。シンポジウム提案の受付を開始しました」
21	3月31日	「MRS-J Bulletinを公開しました」

国立高専機構—日本MRS連携推進委員会

連携推進委員長：佐藤貴哉

令和2年度活動報告

1. 第5回 全国高専生サミットにおいて「**日本MRS Online大実験室**」を開催した。例年は高専生サミット内で「MRS-J連携-高専生向材料科学ワークショップ」という形で実施していたが、R2年度は、**日本MRS単独のイベントとして、初めてオンライン形式**で実施した。開催にかかる経費は、独立行政法人 国立青少年教育振興機構の「こども夢基金」の助成で賄った。本イベント運営は高専教員、日本MRS関係教員、アルバイト高専学生の協力で実施された。

2. 実験テーマ

- ・「圧火器による断熱圧縮と自然発火の実験」
- ・「必ず戻るブーメランを用いた実験」

会場：沖縄高専、大分高専、北九州高専、米子高専、鈴鹿高専、鶴岡高専、一関高専、八戸高専(全8会場)

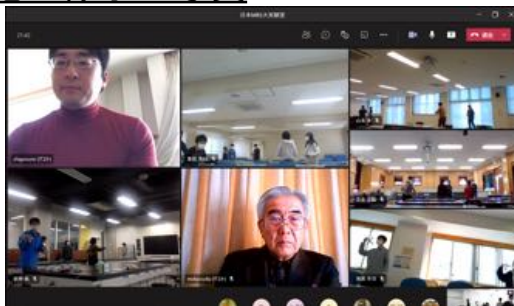
参加児童・学生：47名 大人：11名 計：58名

講師：加納先生 岡田先生、アルバイトスタッフ：13名

イベントのために
作成したチラシ



実施の様子の写真



令和2年度活動報告

3. 日本MRS大実験室(Online)は非常に人気、反響が良い。例年と異なり**参加者が高専生低学年から小学生高学年**と幅広い層に広がったが簡易な実験実習、実験後に即理解を深めるための座学を行うことで参加者の興味・関心を獲得している。また、**オンライン形式**で実施したこともあり、限定的でなく**広域な地域(ほぼ日本全国)での実施**が実現した。
- また、今年度は事務局経費、講師派遣経費の補填のために、「子どもゆめ基金」に申請し、採択を得た。今年度はオンライン開催であったため実験材料費、配送費、スタッフアルバイト代等で使用した(**MRSJからの支出は無い**予定)。
4. 第30回日本MRS年次大会で、2件のシンポジウム 開催した。シンポジウム名から“高専”を外して、広く発表者を募った。
- ・シンポジウム名：社会実装材料研究シンポジウム(シンポジウムO)
 - ・シンポジウム名：バイオ・先端材料関連研究シンポジウム(シンポジウムP)

口頭発表：88件(シンポO：43件、シンポP：45件)、ポスター発表：54件(シンポO：21件、シンポP：33件) **合計：142件**の研究発表を行った。**前年度から約30%増加**の参加人数である。(第29回の高専関連シンポ参加者人数112名)この中には、**海外、大学、国研、企業と高専外からの発表が増加した。奨励賞4件**をMRS-J表彰委員会に推薦。承認された。次年度以降は高専外から特に企業からの発表をさらに増したい。

決算について

- ◆日本MRS Online大実験室 (実験材料費、配送費、アルバイト代など)
上記イベント開催のために**¥229,687-を立替支出した。**
本支出は子どもゆめ基金採択資金によって払い戻し予定である。

令和2年度活動報告

IUMRS対応委員会

IUMRS対応委員長 松下伸広

IUMRS-EC/GA審議状況（総会は開催されず）

IUMRS-GA meeting for 2020 は2021に延期。（E-MRSとの論争により）

In 2021 Jan.22 —IUMRS-EC On-Line Meeting HO-China secretariat

Feb. 25—IUMRS EC On-line Meeting Feb. 26—IUMRS-GA On-line Meeting (Quorum not met.).

April 12 —Audit report for 2019 by a professional company.

May 15—Filing for the IUMRS-US Corporation (Pennsylvania) to IRS. Internal Revenue Service

May —IUMS-EC On-line Meeting

Status of IUMRS Conferences（会議は予定変更）

2020: -----

ICYRAM 2020: Poland – most likely postponed to 2024

ICA2020: 23-26 February, 2021, Thailand (online)

ICEM2020: 30 August – 3 September, 2021, Brazil (online)

2021:

ICAM2021: Cancun Mexico, delayed to August, 2022.

ICA2021 Jeju Island Korea – to be held as scheduled. 3-8 October, 2021

2022:

ICEM2022: will be held in Xiamen, China, at the end of Oct. or the beginning of Nov. 2023.

ICYRAM2022: will be held during 3rd, August to 6th, August, 2022, in Kyushu, Japan.

ICA2022: the turn of India to hold this meeting but no firm decision

2023:

ICAM2023: Singapore – postponed to 23-28 June 2024

ICA2023: the turn of Japan to hold this meeting but no firm decision

令和2年度活動報告

ICYRAM2022準備状況

開催日時・場所の決定

開催日時: 2022年8月3日(水)~8月6日(土)

(会場予約は5日間, 8/2午後: Registration, Reception)

会場: 九州大学医学部百年講堂(福岡県福岡市東区)



5th ICYRAM
CONFERENCE

INTERNATIONAL CONFERENCE
of YOUNG RESEARCHERS on
ADVANCED MATERIALS

3- 6 August 2022
Kyushu University, Fukuoka, JAPAN

ホームページの開設

<https://icyram2022.wixsite.com/official-site>

2020.11.26公開

2020.12.3 Google検索へ登録申請

2021.3.3 各ページのGoogle検索への登録

「IUMRS-ICYRAM2022」, 「ICYRAM2022」などのワードで検索可能



今後の主な予定

(2021年3月 第一回運営・実行委員会 開催)

2021年6月 招待講演者決定

2021年9月 第二回運営・実行委員会

2021年11月 Abstractオンライン投稿開始(9月の実行委員会で決議)

2022年1月 Abstractオンライン投稿締切(9月の実行委員会で決議)

2022年3月 第三回運営・実行委員会

適時 各種団体への助成金申請(セッションオーガナイザー旅

費・参加費サポート、招待講演者参加費サポート)

MRS-J
The Materials Research Society of Japan

【報告事項】

- 1) IURS-EC/GA審議状況
- 2) IUMRS運営体制
 - ・IUMRS HO(Head Office)及びRegional Office
 - ・IUMRS-Singapore Ltd.
 - ・IUMRS-US Corporation
- 3) Commission のメンバーと活動
- 4) IUMRS会議開催予定(既定分)
- 5) IUMRS-HPの構築

【審議事項】

- 1) EC/GAへの対応
 - 宗宮賞、Meeting Commission
- 2) IUMRS-HPへの対応(作業)
 - MRS-Jロゴの確認
- 3) IUMRS会議ホスト提案(MRS-Jの将来計画)

理事会にて対応協議

The banner features a blue-tinted cityscape background with the text "MRM Forum 2020" in large white outline letters. On the right side, there is a vertical navigation menu with blue oval buttons containing the following text from top to bottom: 学術会議, 大学教員, 国研, 企業, 若手研究者, 学生, 教師, 生徒, 市民.

On the left side, there is a Venn diagram with four overlapping circles: a red circle (top-left) labeled "総合討論" (General Discussion) with "HOME" below it; a red circle (top-right) labeled "公開討論" (Public Discussion) with "プログラム" (Program) below it; a green circle (bottom-left) labeled "チュートリアル" (Tutorial); and a green circle (bottom-right) labeled "特別セミナー" (Special Seminar). The central intersection of all four circles is labeled "テクニカル・シンポジウム" (Technical Symposium). Below the diagram, there are three buttons: "Vision" (red), "Research" (blue), and "Education" (green).

In the center of the banner, the following text is displayed:
MRMフォーラム2020
主催：一般社団法人 日本MRS
December 7-9, 2020

Below the date, there are four navigation buttons: "スポンサー募集" (Sponsor Recruitment), "シンポジウム講演募集" (Symposium Paper Submission), "参加登録" (Registration), and "組織委員会" (Organizing Committee).

(0) 基調講演・合同セッション

(1) 総合討論：横断的複合課題

日本の材料研究の現状と課題・その解決の糸口を探る

(2) 公開討論：先進材料科学・技術

「水に関連する材料技術とその革新」

「情報科学との結合による材料研究の革新～現状と課題」

「"元素"から物質・材料へ」

(3) テクニカル・シンポジウム：分野横断テーマ

11シンポジウム(1国際シンポジウム)

(4) チュートリアル：分野横断トピックス

8テーマ

(5) 特別セミナー：マテリアルの魅力

映像リアル体験による次世代マテリアル博士の育成

令和2年度活動報告

参加登録者総数:(520)人 他未入金14人

その内訳

- ①全会場アクセス 一般:20,000円:(250)人 他未入金3人
- ②全会場アクセス 学生:10,000円:(100)人 他未入金1人
- ③制限付アクセス 一般・学生:5,000円 : (168)人 他未入金10人
- ④制限付アクセス 小中高教諭:2,000円:(2)人

参加登録なしの参加者:(98)人

その内訳

- ①基調講演者や招待講演者で事務局が不要と判断した:(50)人
- ②スポンサーの特典で参加した人:(12)人
- ③その他(シンポジウム免除者):(36)人

その他、現地聴講者:(3)人

無料聴講者(推定):(30)人

←特別セミナー

合計(推定):(621 (650))人

令和2年度活動報告

第30回日本MRS年次大会奨励賞受賞者一覧

表彰委員会 手嶋勝弥

受賞者数16名(内, 1名合同審査)

	シンボ	プログラム	発表者	所属	発表タイトル
1	合同(BCD I)	I-010-011	岩間 智紀	東北大学大学院 環境科学研究科	導体ペースト塗り込み法を用いたバイポーラ電極アレイの作製と高時空間分解イメージングへの応用
2	E	E-09-014	横山 智康	パナソニック株式会社/東京工業大学	DFT/3D-RISM法による $\text{CH}_3\text{NH}_3\text{PbI}_3$ の温度特性予測
3	F	F-011-002	Pooreun SEO	Kyushu University	In-situ CL in Gd_2O_3 doped CeO_2 under high-energy electron irradiation
4	G	G-P9-013	乾 滉平	信州大学 繊維学部	自律駆動ゲル微粒子のコアシェル化による時間周期機能のオン-オフ制御
5	H	H-P11-008	松本 晏奈	県立広島大学	リグノフェノール中のフェノール構造を起点とした架橋型誘導体合成
6	J	J-09-006	西村 慎之介	九州大学 先端物質化学研究所	抗血栓性と内皮細胞接着性を併せ持つシルセスキオキサン/ポリ(2-メトキシエチルアクリレート)・ハイブリッドの合成
7	K	K-010-003	奥村 賢直	九州大学	圃場におけるプラズマ照射イネ種子の生育状況と収穫物の健康影響評価
8	L	L-09-006	南 豪	東京大学 生産技術研究所	グリホサート検出を指向した水ゲート型有機トランジスタ: 蛍光検出との比較研究
9	M	M-P9-011	湊 遥香	信州大学 繊維学部	やわらかいコロイド粒子の気水界面における大変形挙動
10	N	N-010-014	佐伯 勇哉	千葉大院 融合理工	ホルミウムを含む分子集合体の構築と磁気特性
11	N	N-P9-022	古澤 利庫	大分大院 工	ポリカルボキシベタインブラシ/アルブミン複合薄膜の創成
12	N	N-P9-014	増田 匡哉	千葉大学大学院 融合理工学府	カラムナー液晶相における二重螺旋構造の自己集合と電場応答性への影響
13	O	O-P10-019	本間 彩夏	鶴岡工業高等専門学校	不揮発性溶液コーティングによるイオン液体型ポリマーブラシの合成
14	O	O-P10-001	伊藤 滋啓	鶴岡工業高等専門学校	欠陥構造シミュレーションを用いたSOFCアノード層への酸化物助触媒添加による活性サイトの設計
15	P	P-011-005	萩尾 健史	名古屋大学未来社会創造機構マテリアルイノベーション研究所/名古屋大学大学院工学研究科	有機溶媒脱水用の新規なマイクロポーラスタングステン酸分離膜
16	P	P-011-002	嶋田 仁	神戸大学大学院 人間発達環境学研究所	交流インピーダンス法による臭化テトラブチルアンモニウムセミクラスレートハイドレート生成過程のその場モニタリング

第30回日本MRS年次大会

実行委員長 高井まどか

開催報告

・シンポ数:15 シンポ(内、国際シンポ 4 件)

※オンライン開催によりキャンセル1件・発表件数:576 件(口頭 381 件、ポスター195 件)

・参加者数:664 名(内、海外から 38 名)

→オンサイトの登録が少なかった。

・企業広告・協賛:広告 2 社、シンポ協賛 1 社

→昨年と比べ件数が減となった。オンライン会議のため宣伝効果が期待できないとの判断か広告掲載が少なかった。

・特別講演:

水無 渉氏(NEDO)延80名の参加(12/9)

出村雅彦氏(NIMS)延 70 名の参加(12/10)

・ポスター発表:

800 名の参加(12/9)、700 名の参加(12/10)

口頭発表:

30~70 名(シンポ AM/PM 毎)の参加